

### ホトケノザ ～調和～

朝、スクールバスから降りてきた子供たちとハイタッチと挨拶を交わすのが私の日課となっています。

その後、校庭を一周歩いてから、校舎内の各教室へ挨拶をして回ることで、私の一日がスタートしています。この4月でそのルーティンも2年目となりました。毎朝、この歩くコースの中でも校庭の南側にある体育倉庫側から校舎を見るのが私は好きです。白壁の2階建ての平たい佇まいに、どこか安心感を覚えます。



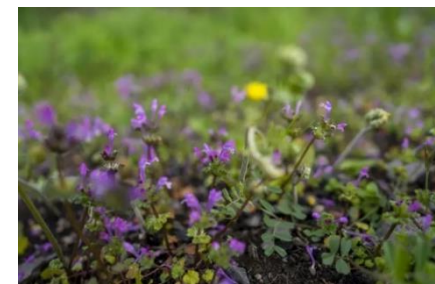
校長室から見える景色も好きです。

校庭一面に清々しく芝生が広がっています。クロマツとツツジが黒とピンクで三宅の春のコーデを楽しんでいるかのようです。旗ポールの元にひっそりと紫蘭が咲いています。

「私のことなど、知らん でしょ!」

と、声が聞こえてきそうですが、「安心してください。私はしっかりとあなたを見つめています。」

晴れた日には、外遊びをする子供たちの元気な姿と呼応するように、三宅島の植物も力強くそして鮮やかな色を放っています。校長室と反対側の職員用駐車場側の小道を歩いていると、ホトケノザが咲いていました。しかも、私を悟すかのように静かに。ホトケノザの名前は、蓮の華が重なっているように見えるところから、「仏様の台座」が由来とされています。調べてみますと、蓮華座に鎮座する仏の姿から連想されることから「調和」が花言葉だそうです。



新年度が始まり、1週間が過ぎました。かわいらしい16名の新入生を迎えて、三宅小学校は、色とりどりの花が咲いています。本日は、1年生を迎える会を行いました。6年代表児童から1年生へ、「困ったときにはいつでも上学年を頼ってくださいね」と言葉を贈りました。思いやりと優しさにあふれたその言葉で、1年生の表情も和らぎました。これからも、お互いに相手のことを思い、「調和」を大切にしていきます。

「いつだって6年生は、1年生を ほっとけ ない のさ !!」

